

＜白金標準先物、バンカメ 1500 ドル、UBS1200 ドル予想・・・＞



(出所：オアシス)

シリコンバレー銀行の破綻から始まった金融市場の信用リスクもシリコンバレー銀行やシグネチャー・バンク、欧州ではクレディスイスなど他銀行に買収され、市場は急速に市場に漂っていた信用リスクは後退を見せている。特に週末に FRB がインフレ指標として重要視する PCE デフレーターの発表では、前年比で前月の 5.3%を下回る 5.0%となるなど、インフレ指標は低下しており、FRB の利上げサイクルが終了に近づいている可能性を示唆していると受け止められている。また金融市場の混乱を示す中で、大手投資銀行のバンク・オブ・アメリカは 2023 年の NY 白金の高値予想で、南アフリカの電力不足や脱化石燃料を受けた燃料電池需要の拡大を指摘し、1500 ドルまでの上昇を予想している。また UBS は昨年 6 月に発表した 1150 ドルの高値を 50 ドル引き上げて 1200 ドルまでの上昇を予想するなど、ここに来て強気の見方が出始めている。特に南アフリカでは、エスコムの唯一稼働している原子力発電所の 1 号機の稼働延長のメンテナンスが 7 月 25 日の期限を 45 日間延長すると発表するなど、依然と電力不足の改善は難しい環境下であり、巻き戻しの値動きに目先の高値 4217 円を試す可能性は高まりを見せており、4 月の早い時期に 4217 円を超えて 4300 円へ回帰する相場になると思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**を上回る強気にクロスが発生し、RCI でも **短期**が上昇しながら、**下げ止まっている長期**を上回るなど、強気を示唆していると思える。特に 3 本の移動平均線が重なるポイントを日足が上回るなど強気を示唆する動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 4 月 3 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 39,160 円(2023 年 4 月 3 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>